

2021年 第50週（12月13日～12月19日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) 感染性胃腸炎の発生が続いています
 - 2) ヘルパンギーナの発生が続いています
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	感染性胃腸炎	6.50	9.50	6.00	-3.00
2位	ヘルパンギーナ	4.50	2.50	3.50	+2.00
3位	手足口病	3.50	4.00	3.00	-0.50

- 2) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）
報告はありません

2 発生から見る注意点

1) 感染性胃腸炎の発生が続いています

管内の感染症集団発生は報告されていませんが、兵庫県内では、今週10件（先週2件）の集団発生が報告されています。

高齢者等の施設内での嘔吐や下痢等の症状が見られた場合は、感染性胃腸炎を念頭に置き、対応をお願いします。症状消失後も1週間～1か月程度、便中にウイルスが排出されていますので、引き続き注意が必要です。

感染性胃腸炎とは（兵庫県ホームページ）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/hw12_000000035.html

2) ヘルパンギーナの発生が続いています

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する。いわゆる夏かぜの代表的疾患です。

2～4日の潜伏期を経過し、突然の発熱に続いて咽頭痛、咽頭粘膜の発赤や小水疱です。小水疱はやがて破れ、浅い潰瘍を形成して、疼痛を伴います。発熱については2～4日間程度で解熱し、それにやや遅れて粘膜疹も消失します。

感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。

特異的な予防法はありませんが、感染者との密接な接触を避けること、流行時にうがいや手指の消毒を励行することなどです。

ヘルパンギーナとは（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/515-herpangina.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第50週は24人（先週34人）の新型コロナウイルス新規感染者で、5週連続で40人以下の低い水準を維持しています。

12月22日、国内で初めて「オミクロン株」の市中感染（市中で経路がたどれない感染）が確認されました。オミクロン株は、これまで報告されてきた変異ウイルスより感染力が強いとみられており、今後感染が地域に拡大する恐れがあります。これから年末に向けて忘年会、クリスマスやお正月など、人流の増加が想定されます。外出の際は混雑した場所や感染リスクの高い場所を避けることや、換気、マスクの着用、手洗い、3密の回避などの基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。感染防止対策はオミクロン株でも同様です。また発熱、倦怠感などの症状がある場合は、外出を控え、医療機関を受診し、検査を受けることもお願いします。

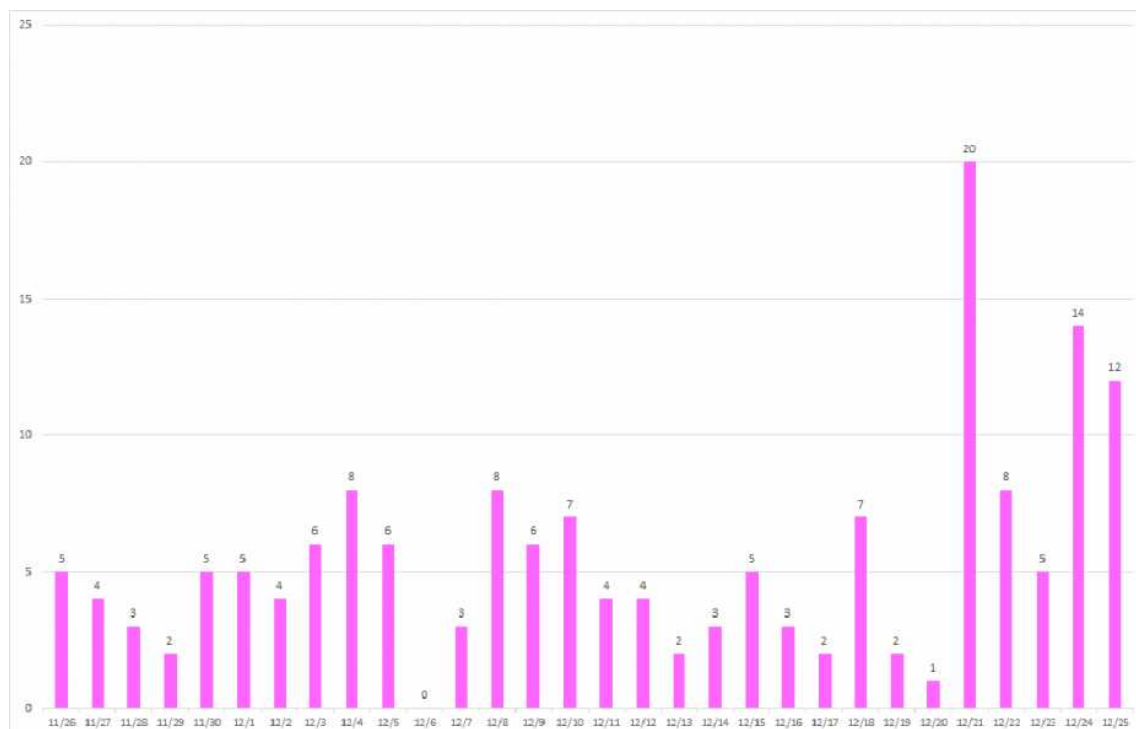
1) 感染再拡大警戒！感染対策の徹底を！

今後インフルエンザ流行の季節や年末年始を迎え、引き続き、感染再拡大への十分な警戒が必要です。

【直近1週間平均患者数】

○直近1週間平均 :9.4人

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（11/26～12/25）】



兵庫県の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

<皆様へのお願い>

穏やかな新年を迎えられるよう、感染防止対策の徹底をお願いします。

- 1 体調異常があれば、登校・出勤を控えましょう。
- 2 感染対策を徹底している飲食店を利用しましょう。
- 3 飲食時でも会話の際にはマスクをつけましょう
会食は短時間（2時間程度）にしましょう
- 4 ワクチン接種を積極的に受けましょう
ワクチン接種後も引き続き、マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保など基本となる対策の徹底をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

- 1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

<問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メール asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実施日 1月実施日 1月6日(木)、1月20日(木)